

# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成16年 9月29日 作成  
平成19年11月13日 更新  
BOX No.114201

**車両情報** 日産 ムラーノ Z50系 1/2ページ ES-89Light **Type** N.L. **Opt.**  
平成16年9月～

**①** オートライト機能付き車は、エンジンスターターCN2のオートライト配線は必要ありません。  
(キーでIGをOFFすると、ヘッドライトが消灯するため)

グローブBOXを外した左側一番手前  
16P白色カプラ

**L端子(茶)**  
茶

**①** 運転席側のカバー類  
① ロアカバーを外す。(ネジ2本と、右下側にレバーのボルト2本)  
② コラムカバーを外す。(ネジ2本)

右側のキーシリンダ直付け

**専用ハーネス**  
N108  
VN108 ⑤

**①** イモビ対応ユニットの取り付け(イモビライザー装着車のみ)については、2/2ページを参照してください。  
ドアロック/アンロックの取り付けについても2/2ページを参照してください。

キー照明  
2P白色カプラ

**①** バックドア以外の全ドアの開閉を検出。

**ドア(紫or白/黒)**  
赤

**①** ヒューズBOXのカバーを外した右側にネジ1本

**A/T車設定が必要な行 ↓ のみ**  
(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。  
① 車両のキースイッチをONにする。  
② リモコンでSTOPを押す。  
③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。  
④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。  
⑤ 設定完了。  
※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

**①** 特有の注意事項(使用できない機能等について)  
① オートロック機能が、使用できない場合があります。…ドアをアンロックしたときに、車両のキー照明が点灯する車両が該当します。

**①** 機能付き機種のみ配線

**①** バックドアの開検出を行う場合に配線する。ドア検出ユニット(別売)が必要です。

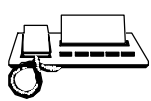
足踏み式 Pブレーキスイッチ 1P白色カプラ  
**Pブレーキ(橙)**  
紫/赤

左側のユニット(BCM) 15P白色カプラ  
**バックドア(白/黒)**  
紫/白

コラム内下側 黄色カプラの右側 8P灰色カプラ  
**ホーン(緑)**  
緑/橙

止めネジ等  
① ナット ② ビス ③ 隠れビス

**配線内容(受信機CN2緑色)**  
車両配線色



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成16年 9月29日 作成  
平成19年11月13日 更新  
BOX No.114201

車両情報

日産 ムラーノ

平成16年9月～

Z50系

2 / 2 ページ

ES-89Light **Type** N.L.

**Opt.**

## ① 注意事項

- ・エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、N-1イモビ対応ユニット（EP089）を使用します。
- ・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

## ① 使用上の注意事項：インテリジェントキー付き車のみ

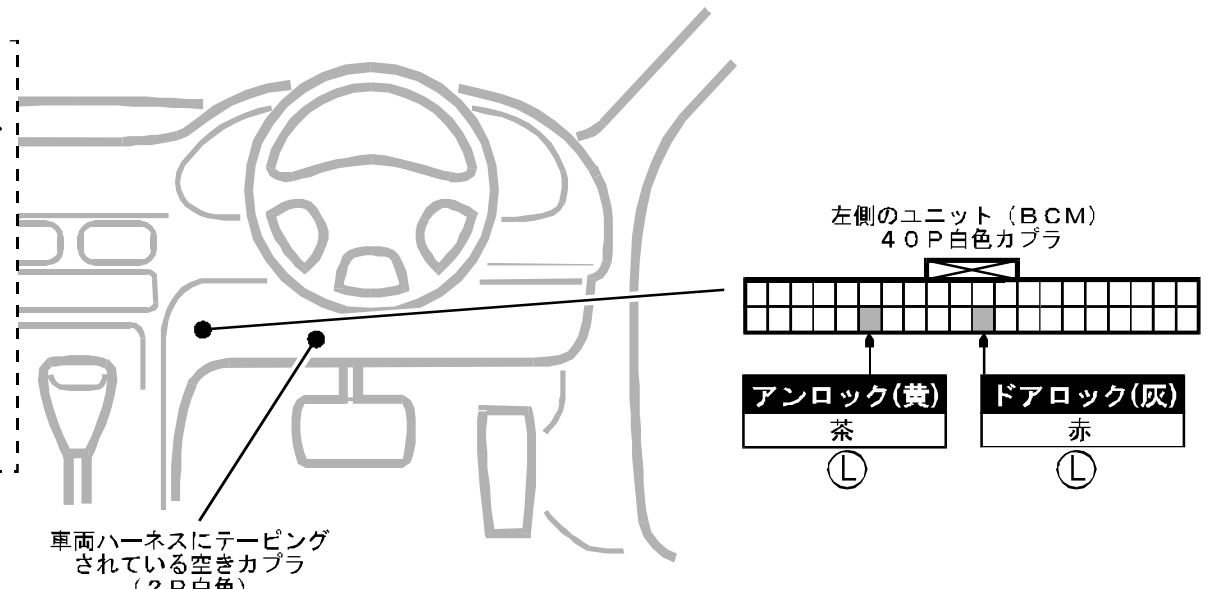
※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

①必ずエンジンを止めてから乗車してください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、またはドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。

…以下は、その理由

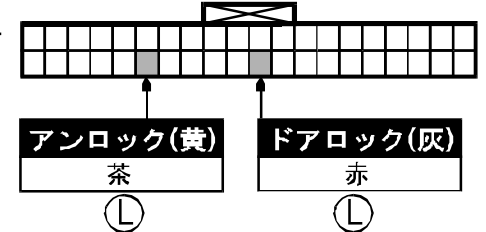
- ・エンジンスターターでアイドリング中に、キーのノブがロックされて回らなくなる車両があるため。…車両の構造なので、異常ではありません。エンジンを止めると、ノブは回るようになります。

②乗車後は、ノブを回してエンジンを始動してください。



車両ハーネスにテーピングされている空きカプラ (2P白色)

左側のユニット (BCM) 40P白色カプラ



① イモビ対応ユニットの青色線を接続する。

① イモビ対応ユニットの橙色線を接続する。

配線内容(受信機CN2線色)  
車両配線色

## ① 警告

- ・CAN-L、及びCAN-Hを2P白色カプラの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- ・接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

### ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

### ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。  
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。